

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者 (※:筆頭演者)
1	37th Annual Symposium on Sea turtle Biology and Conservation	2017年4月15~20日	Development of Techniques for Artificial Insemination in Captive Hawksbill Turtles	当財団で開発したタイマイの人工授精技術について紹介した。	※ Kawazu I , Suzuki M, Kino M , Maeda K , Sawamukai Y
2	18th International Congress of Comparative Endocrinology	2017年6月4~9日	Seasonal changes in sex steroid hormones and follicle size in the zebra shark, <i>Stegostoma fasciatum</i>	飼育下におけるトラフザメの性ホルモンと卵の周年変動を明らかにし、性ホルモンが生殖状態のバイオマーカーとなることを示した。	※ Nozu R , Murakumo K , Matsumoto R , Yano N , Yanagisawa M , Sato K
3			Sterilization of matured testis of tilapia by high temperature	高水温処理によって不妊化したティラピアの生殖生理学的な特徴を報告した。	※ Nakamura M , Kagawa R, Nozu R , Oka S
4	2017 Joint Meeting of Ichthyologists and Herpetologists	2017年7月13~16日	Oxygen-diffusion capacity of the white shark uterus: Oxygen delivery to an embryo without a placenta	ホホジロザメの子宮の胎仔への酸素供給能力を推定した。	※ Tomita T , Nozu R , Nakamura M , Sato K
5	日本環境教育学会 第28回年次大会	2017年9月1日~3日	国営公園内の自然環境を利用した参加体験型学習の実施事例	クワイフカゲモドキやヤシガニなどの園内の生物資源を活用したナイトツアーなどの普及啓発活動について紹介した。	※ 山崎 啓 ・ 徳武浩司 ・ 岡橋一郎 ・ 宮本 圭
6	第23回 日本野生動物医学学会大会	2017年9月1日~3日	アルファキサンロンとプロポフォールを用いたオグロオトメイの麻酔	大型水槽内での効率的な大型エイの麻酔方法を確立し報告した。	※ 柳澤秋央 ・ 矢野 清 ・ 松本理俊 ・ 松崎孝平
7	日本動物学会第88回大会	2017年9月21~23日	高水温処理によるティラピアの不妊化—長期飼育による不妊性への影響—	高水温処理によって不妊化したティラピアを長期飼育した場合においても生殖細胞は復活しないことを確認した。	※ 野津 了 ・ 加賀谷玲夢 ・ 岡橋一郎 ・ 中村 毅
8	6th International Bio-Logging Science Symposium	2017年9月25~29日	Gigantothemy of whale sharks enables them to do extreme deep dives	深海域への潜水によるジンベエザメの体温変化について報告した。	※Nakamura I, Matsumoto R , Sato K
9	第61回日本医歯学術集會	2017年9月29日~10月2日	ロボミコースからラカジオシス・そしてクジラ型パラコキシオイデス症へ	ロボミコースからラカジオシス・そしてクジラ型パラコキシオイデス症に関する・ヒトと小型クジラ類の人獣共通感染症について報告した。	※ 植田啓一
10	10th Indo-Pacific Fish Conference	2017年10月2~6日	Taxonomic and ecological studies on <i>Abudefduf caudobimaculatus</i> and <i>Abudefduf vaigiensis</i> (Perciformes: Pomacentridae)	形態的に酷似するシリテンスズメダイとオヤビッチャの分類及び生態について報告した。	※Wibowo K, Toda M , Harazaki S, Motomura H
11	第13回日本刺胞・有櫛動物研究談話会	2017年10月8~9日	沖縄県で採集されたハナガサクラゲ <i>Olinidias formosus</i> の繁殖について	沖縄県で採集されたハナガサクラゲの繁殖に成功し・明らかになった生活史について報告した。	※ 谷本 都
12	Society for Marine Mammalogy 2017 Conference	2017年10月22~27日	Cases of Lobomycosis-like disease in a dolphin	ロボミコースと・その類似疾患5例としてのパラコキシオイデス症例・トリコスボロン症例・バビローマ症例・扁平上皮癌症例について・その特徴や違いを報告した。	※ Ueda K , Minakawa T, Sano A
13			Exact position of the whole body skeleton in dolphins detected by CT scanning	当財団が保有しているCT検査により・イルカ類の正確な肩甲骨・腰骨の位置関係を示すと同時に・肋骨の結合部位の特性を把握する事が出来た事を報告した。	※ Ueda K , Ito H
14			Site fidelity of humpback whales in a breeding ground: Returning rate, Calving Rate and Calving Interval in the western waters of Okinawa Island, Japan	沖縄本島周辺海域に来越するザトウクジラの帰帰率・出産率・出産間隔を明らかにするとともに・他の繁殖海域と同様の傾向を示すことを報告した。	※ Kobayashi N , Okabe H , Higashi N , Miyahara H , Kato H, Uchida S
15			To go or not to go: movements of humpback whales between breeding grounds in Okinawa, Japan and the Philippines	沖縄及びフィリピン周辺におけるザトウクジラの繁殖海域内移動について報告した。	※ Okabe H , Acebes JM, Kobayashi N , Nakagun S
16	第62回水族館技術者研究会	2017年10月30日~31日	飼育下におけるイタチザメの出産と仔魚の成長	水族館で出産したイタチザメの紹介と・観察結果と仔魚の飼育や成長に関する記録を報告した。	※ 当直英之 ・ 松崎孝平 ・ 河津 聡 ・ 佐藤圭一 ・ 宮原弘和
17			クロウミガメの飼育下繁殖	世界で初めて繁殖に成功したクロウミガメの繁殖パラメーターについて報告した。	※ 河津 聡 ・ 真柴田賢 ・ 栗田晋悟 ・ 小椋万風子 ・ 小瀬真洋 ・ 真藤正江
18	日本サンゴ礁学会第20回大会	2017年11月23日~26日	飼育枝状ミドリソンの産卵はいつ起こる? ~15年間の観察データより	15年間の長期飼育下トゲスギミドリソンの産卵日を報告し・月齢と水温の影響について考察した。	※ 山本広美 ・池内絵里・河村伊織・ 金谷繁作 ・ 永田史彦 ・ 渡辺地健矢 ・ 高岡博子 ・ 野中正法 ・ 野澤洋耕
19	日本爬虫両棲類学会 第56回大会	2017年11月25日~26日	海洋博公園のクワイフカゲモドキにおける自然標識を用いた個体識別	本種の「自然標識を用いた個体識別」の手法と観察例について報告した。	※ 徳武浩司 ・ 山崎 啓 ・ 岡橋一郎 ・ 宮本 圭
20			海洋博公園におけるクワイフカゲモドキの自然標識を用いた個体数推定	本種の「季節間生息数動態」と世界初となる「生息密度」の推定結果について報告した。	※ 山崎 啓 ・ 徳武浩司 ・ 岡橋一郎 ・ 宮本 圭
21	平成29年度 海獣技術者研究会	2017年12月6~8日	超音波画像診断検査(エコー検査)を用いた採尿訓練	イルカのエコー検査を用いた採尿訓練について報告した。	※ 植田啓一 ・ 外間克也 ・ 比嘉 亮 ・ 上道春香 ・ 植田啓一 ・ 徳武浩司
22			オキゴンドウの交尾・出産および授乳行動	繁殖に成功したオキゴンドウの出産事例について報告した。	古賀壮太郎 ・ 三谷祐太 ・ 外間克也 ・ 河津 聡 ・ 植田啓一 ・ 徳武浩司 ・ 宮原弘和
23	平成29年度 東京大学大気海洋研究所 共同利用研究集會	2017年12月11~12日	ガラバゴス諸島におけるジンベエザメの野外調査 ~水族館飼育魚健康管理技術をフィールドへ~	2017年7月に実施したガラバゴス諸島におけるジンベエザメの成熟雌の生態調査について報告した。	※ 松本理俊 ・ 村瀬清美
24	平成29年度九州沖縄ブロック 飼育技術者研究会	2018年1月24~25日	ツマジロの採集・輸送・展示について	日本で初めての展示に成功したツマジロの輸送方法について報告した。	松崎孝平 ・ ※村上 貴 ・ 柳澤秋央
25			シリコンシーラントを用いた擬岩製作技術	水族館における深海展示水槽の擬岩の製作方法について報告した。	※ 比嘉俊輝 ・ 東地拓生
26			ユメゴンドウのウェット・スリング式による輸送	ユメゴンドウの長距離輸送方法について報告した。	徳武浩司 ・ ※池島卓哉 ・ 比嘉 亮 ・ 植田啓一 ・ 中村雅之
27	38th Annual Symposium on Sea turtle Biology and Conservation	2018年2月18~23日	Research of captive sea turtles in Okinawa Churaumi Aquarium	水族館での研究を紹介し・飼育研究の重要性について報告した。	※ Kawazu I
28			Rescue and rehabilitation of stranded sea turtles in Okinawa Churaumi Aquarium	水族館でのウミガメ保護収容や治療に関して報告した。	※ Omata M , Murakumo K , Kino H , Ikehara R , Maeda K , Fukada S , Ueda K , Kawazu I
29			Developmental migration and distribution boundary of foraging green turtles confirmed from genetic features of different developmental stages	摂餌海域のアオウミガメの遺伝的解析から・日本近海の未成熟個体の回遊について報告した。	※Hamabata T, Nishizawa H, Kawazu I , Kameda K, Kamezaki N, Hikida T
30			Captive breeding of sea turtles in Okinawa Churaumi Aquarium	水族館でのウミガメ繁殖を紹介し・繁殖パラメーターを報告した。	※ Fukada S , Kawazu I , Maeda K , Maeda K , Kino M , Omata M , Makabe M , Kobuchi T
31	Comparison of hidden behaviors into floating algae among three Species hatchlings of sea turtle	ウミガメ孵化幼体の流れ藻に対する行動について報告した。	※Fujibayashi N・ Kawazu I , Kamezaki N		
32	平成30年度 日本水産学会春季大会	2018年3月26~30日	卵食型オオテンジクザメの繁殖過程における性ホルモンの関与	飼育下におけるオオテンジクザメを2年におよぶモニタリングの結果・妊娠/非妊娠の状態に関わらず性ホルモンの変動パターンが変化しないことを報告した。	※ 野津 了 ・ 村瀬清美 ・ 矢野 清 ・ 松本理俊 ・ 佐藤圭一
33			飼育下オキゴンドウの性成熟と妊娠期間	血中プロゲステロンの長期モニタリングにより雌のオキゴンドウの繁殖生態について明らかにした。	※ 古賀壮太郎 ・ 三谷祐太 ・ 外間克也 ・ 河津 聡 ・ 植田啓一 ・ 徳武浩司 ・ 宮原弘和